

## 中央労組への檄

近畿労働金庫労働組合  
青年委員会副委員長 谷口 淳

中央労金労組のみなさん、日々の組合活動お疲れさまです。

中央労働金庫の仮決算状況を見ると、当期純利益が25億円増加しており、貸出金平残は減少しシステム関連費用が増加していますが、事業目標については達成する見込みとなっています。システム移行を乗り越えながらも事業目標を達成させる事は相当の努力が必要であったと思います。

R・ONE 移行業務の影響により肉体的・精神的負担が増加した中、中央労金労組のみなさんが経営体質強化に向けた推進活動で実績を上げられた事は非常に大きな成果であったと思います。みなさんが掲げられた一時金要求については妥当なものであると考えます。

また、ワークライフバランスのとれた働き方の実現等、中央労金労組の基本スタンスには共感できます。要求を勝ち取るため、共に頑張りましょう。